

かんきょう新聞

2017.7 夏号
平成29年度

平成19年度から、かんきょう新聞は印刷会社への発注ではなく、市役所内の作業だけで発行することになりました。
主に市内の小中学校、高校などで掲示して読んでもらうことを考え、作成しています。
ご希望があれば、個人や団体へも送付しますので、うみがめ課までご連絡ください。

第2次福津市環境基本計画

環境基本計画とは、福津市の自然環境や文化・歴史的な財産を受け継ぎ、より快適で住みやすい環境づくりを進め、豊かな福津市の環境を未来へと引継いでいくための計画です。平成19年から10年間「福津市環境基本計画」に基づき環境を取組んできました。平成29年3月には「第2次福津市環境基本計画」が新たに作られました。この第2次福津市環境基本計画は、「第2次福津市環境基本計画」「生物多様性ふくつプラン」の2部構成になっています。福津市の目指す環境の姿として、「暮らしと自然が織りなすまちふくつ」とし、一人ひとりが環境について学び、考え、育んでいくまちを目指します。



第2次福津市環境基本計画

～生物多様性ふくつプランを含む～

平成29年3月 福津市



第2次福津市環境基本計画

～生物多様性ふくつプランを含む～

動物も植物も人間もみんな生きもの

私たちのまわりには、いろいろな生きものたちが暮らしています。皆さんのまわりにはどんな生きものがありますか。いつも通る通学路、友達と遊ぶ公園などちょっと気をつけて見てください。犬や猫。アリやダンゴムシ。それから夏は、山に行けばカブトムシやクワガタムシ。海にはカニや魚。それからアサガオやひまわりなどの植物。本当にたくさん種類の生きものたちに囲まれて生活しています。この地球上には、約3000万種の生きものがすんでいるといわれ、私たちヒトも、その生きものの中の一つです。

いのちのぎわい

自然の中では、いろいろな生きものが、いろいろな場所です。それぞれがにぎやかに暮らしていることを「いのちのぎわい」とよんでいます。

いのちのつながり

地球上にいる3000万種の生き物たちは、一人では生きていけず、他の生きものと食う食われるなどの関係（食物連鎖）でつながっています。また、生きものそれぞれに歴史上のつながりがあります。このようなつながりを「いのちのつながり」とよんでいます。

生物多様性

自然の中では、たくさんの種類の生きものがにぎわい、それぞれにつながって生きていることを「生物多様性」といいます。

生きものからの恵み

私たちの生活は、生きものからの恵みによって支えられています。私たちが食べている野菜、米、肉、魚。それに水、空気。私たちの人間は他の生きものから命をもらったり利用したりすることで生きています。



私たちの食事は生きものによって支えられています。

生きものたちが危ない

人間の生活が便利になりましたが、1年間に4万種の生きものが絶滅していています。このままでは私たち人間も無関係ではられません。

みんなができること

生きものを守るために、まず、自分の住んでいる福津市の自然環境について知ることからはじめてみましょう。知ることから、いろいろなことがわかり、その中から自分でできることを考え行動にうつしてみましよう。



かんきょう環境クイズ

この中で絶滅危惧種はどれでしょう？！



ニホンアカガエル



カブトムシ

正解：ニホンアカガエル